



シャボン玉飛んだ

巨大シャボン玉を追いかけるかわいい子
石見スタジアムでのフリーマーケット

9月
定例会
特集

注
今
月
の
！

- 令和3年度決算を認定 (3)
- 町民議会を開催します (23)

令和3年度決算を認定

決算審査

注) 表の金額は万円単位で表示していますが実際の決算はすべて円単位までとなっています。千円単位で四捨五入していますので合計が一致しない場合があります。

令和3年度会計別決算収支

(単位：万円)

会計名	決算額			
	収入	支出	差引	
普通会計	一般会計	135億4917	133億 489	2億4428
	電気通信	3億5995	3億4149	1846
	小計	139億 912	136億4638	2億6274
公営事業会計	国民健康保険	13億2580	13億 749	1831
	直営診療所	9529	9166	363
	後期高齢者	3億8672	3億8457	215
	下水道	9億4299	9億3078	1221
	小計	27億5080	27億1450	3630
総合計	166億5992	163億6088	2億9904	
2年度	174億5282	171億7798	2億7484	
元年度	157億4032	154億6719	2億7313	
30年度	150億9392	148億2981	2億6411	
29年度	150億7024	147億4054	3億2969	
28年度	159億2729	154億5041	4億7689	

令和3年度水道事業会計決算収支

(単位：万円)

水道事業	収入	支出	差引
収益的収入・支出	4億6394	4億3768	2626
資本的収入・支出	2億2234	3億9792	△1億7558

邑南町の財布の中身は？ 財政指標等のようす

(単位：万円)

年度区分	令和2年度	令和3年度	対前年度増減率	
標準財政規模	69億2311	71億7781	3.7%	
経常収支比率	93.3%	90.3%	△3.0P	
健全化判断比率	実質赤字比率	—	—	
	連結実質赤字比率	—	—	
	実質公債費比率 (単年度)	15.0%	14.1%	△0.9P
	将来負担比率	14.3%	12.4%	△1.9P
職員数	217人	216人	△1人	
人件費	17億2634	17億7339	2.7%	
人件費比率	12.0%	13.1%	1.1P	
物件費	14億5764	14億 131	△3.9%	
普通建設事業費	15億5477	12億3785	△20.4%	

特別定額給付金皆減で歳出減額

令和3年度決算は、一般会計および特別会計ともに黒字決算となりました。また、水道事業会計も一般会計からの繰出金の増額により、2470万円の単年度純利益を計上しました。財政指標は改善しましたが、これは標準財政規模が増額となったためです。

9月定例会を9月5日から16日までの会期で開催し、令和3年度会計決算を認定しました。決算審査は9月7日、8日の両日にわたり連合常任委員会で審査しました。個別の事業内容に対する質疑や、事業の自己評価に対する考え方を質し、来年度以降の施策に結びつけるよう要求しました。また、自主財源で

ある町税の徴収について、収入未済額(未収金)を減らすよう努力を求めました。各会計ごとの状況は左の表をご覧ください。一般会計の歳出総額は、前年度比5.2%減少し、

133億489万円となりました。これの大きなものは、新型コロナウイルス感染症に係る特別定額給付金(10万円の定額給付)が今年度は実施されなかったことによりま

ず。決算に基づく普通会計の財政指標については、経常収支比率は90.3%、前年度対比で3.0ポイント改善しています。実質公債費比率は、3年平均で0.9ポイント改善し14.1%となっています。将来負担比率は80.6%と11.0ポイントの減少となりました。



森脇義博 代表監査委員

続く大型建設事業に向けて 適切な財政運営を

森脇代表監査委員の決算審査報告

令和3年度は「誰ひとり取り残さない、人としてなかり支え合う町づくり」を予算編成のテーマに掲げ、さまざまな事業が実施されました。しかし、前年から続く新型コロナウイルス感染症が収まらず、色々な制約がある中で、事業展開が難しい。この対策経費の違いで、普通会計の決算規模

は前年度より縮小しています。決算状況は、普通会計、特別会計はいずれも黒字となっています。また、経常収支比率や実質公債費比率などの決算指標は、いずれも改善していますが、これは令和3年度の特徴である普通交付税の追加があったことが大きな要因です。

依存財源が8割を占める本町では、厳しい財政事情は避けられません。町が持続的発展を遂げるためには、真に必要な事業の選択をしながら町民ニーズに配慮することも、計画される大型建設事業などでの現世代と将来世代の負担、分担に注視した財政運営が必要と考えます。

また、水道事業会計は、昨年度計上した額を上回る純利益を計上しましたが、これは一般会計からの繰り出し基準の見直しによる補助金が大きく影響しています。コストの削減はもちろん、計画的な施設整備や改修に心がけ適切な運営に向けて努力を望みます。

邑南町の貯金は？ 積立基金のようす

(単位：万円)

基金名	2年度末現在高	決算年度中増減額		3年度末現在高
		積立額	取崩額	
一般会計				
財政調整基金	3億9585	1億708	0	5億293
減債基金	18億2545	5億366	2億3942	20億8969
まちづくり推進基金	1億3487	3256	4090	1億2653
地域振興基金	15億6488	0	0	15億6488
その他特定目的基金	9億2881	2億2271	2億5986	8億9166
合計	48億4986	8億6600	5億4018	51億7568
特別会計				
国民健康保険事業基金	1億96	1141	191	1億1045
生活排水処理事業基金	3045	1	0	3046
下水道事業基金	3663	1	0	3664
電気通信事業基金	8440	2102	774	9769
合計	2億5244	3245	965	2億7524
総合計	51億230	8億9844	5億4983	54億5091

邑南町の借金は？ 地方債のようす

(単位：万円)

会計名	2年度末現在高	決算年度中増減額		3年度末現在高
		発行額	償還額	
一般会計	130億3259	17億5640	14億9398	132億9501
特別会計				
直営診療所	1億9940	0	24	1億9916
下水道事業	50億1667	1億5790	4億9232	46億8225
電気通信事業	2億2193	990	5985	1億7198
合計	184億7059	19億2420	20億4639	183億4840

国や県からの歳入財源の推移（一般会計）

(単位：万円)

項目	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
地方交付税	69億9801	68億1612	66億9789	65億6664	62億3746	59億7932	58億7856	59億2266	62億5339
国庫支出金	10億6474	20億4907	13億9820	9億747	7億7809	8億5716	8億3450	24億5458	15億2881
県支出金	9億973	13億9159	11億4314	9億4022	8億8716	9億1649	10億2494	10億3522	10億6801

大型物件続々始動

石見中学校改築

今定例会初日に工事請負契約について上程され、先議にて全員賛成で可決

石見中学校改築工事は、資材費高騰などにより予算不足となつたため設計変更が行われ、予備的経費を含め2億1000万円（今年度予算は8400万円、来年度債務負担行為は1億2600万円）の追加補正予算が6月議会で可決したことを前回の議会日より7月号でお知らせしました。

この工事請負契約の締結については、今議会において先議で承認しました。この工事は、7月20日に公示され、共同企業体に発注する方式がとられました。

8月23日に入札が実施され、今井産業株式会社花落札しました。9月2日に共同企業が正式決定され、仮契約が行われました。共同企業体の名称は、今井産業・溝辺組・石見工業特別共同企業体

となっております。

工事名は「邑南町立石見中学校改築工事」、工事場所は邑南町中野2645番地、契約金額は26億7300万円です。

工事期間は、今年9月6日から令和6年2月29日までとなっております。

邑智病院本館建て替え

原油や資材などの物価高騰により、病院議会で補正予算の増額が可決

公立邑智病院本館棟建替事業は、当初予算額では賄えない状況となつたため、実施設計工事費用の積算の見直しを行い、増加する費用について病院組合議会で補正予算が可決されました。

補正予算の内容は、資材高騰分として6億1442万8千円の

増額に加え、感染症対策

として病室・待合空間の確保による面積増加分3億7099万4千円が加算され、合計補正予算額は9億8542万2千円となります。

補正予算後の総事業費は58億8891万4千円です。

工期は、令和4年10月



石見中学校改築工事の起工式

邑学館新館別棟

資材価格の高騰や労務費等の上昇などによる補正予算を可決

邑学館新館別棟整備事業については、用地取得、建物建築実施設計、敷地造成工事がそれぞれ完了となり、今後、建物建築工事（令和4年10月～令和5年7月）が行われる予定となっております。

建物の概要は、鉄骨造2階建て、建物用途は長期滞在型学習・研修施設となっておりますが、矢上高校の寮として活用することとなります。宿泊室は21室（2人部屋）42人の定員で、トイレ、シャワーが充実設備されています。

今年度当初予算3億6850万円に今回の補正額8814万5千円を追加して、合計4億5664万5千円になりました。

頃から令和7年4月30日までとされており、当初の予定期間から1年程度延長されました。

これにより、令和4年度実施計画変更による邑南町負担分の建設改良費を5億1976万8千円減額する等の補正予算案が上程されるとともに、病院議会での関連する内容が今議会の全員協議会で説明されました。

本社事務所を開設

おおなんきらりエネルギー株式会社

環境省の脱炭素先行地域に選定され、4月に「おおなんきらりエネルギー株式会社」が設立されました。

出資予定だった10社のうち2社（島根県農業協同組合、邑智郡森林組合）が出資を確定し、新規に2名の職員を採用され、事務所も矢上の旧邑南町高齢者ふれあいプラザに

開所されました。

小売電気事業に参入するための事前審査に通過し、本審査に入ったようです。しかし、昨今の世界情勢の煽りを受けエネルギー業界は厳しい状況にあり、認可には数箇月かかるようで、当初9月から定していた電気小売事業は、延期となりました。

おおなんきらりエネルギー株式会社
Ohnan Kirari Energy Corporation

開設された事務所の看板

現在、小売電力市場価格が乱高下しているため、自前の電源確保が必要で、小売資格がないと事業ができないため、認定を待つしかないようです。

PPA事業に関しては、電力使用量の多い公共施設へ導入する分の調査を開始しています。事業者や一般家庭への導入は、9月中を目途に開始する予定でしたが、まだ開始されていません。

以上の報告がありました。

議案上程を延期

子ども条例

2011年度の「日本の子育て村基本構想」から10年、昨年からも条例の策定に取り組んでいます。社会情勢が大きく変容する中でも、心豊かに育つことができ環境づくりをめざし、今後の町としての子ども施策を総合的かつ継続的に推進するためのもので

す。広く町民の意見を聞くために、無作為抽出の住民会議を開催し、中高生ともワークショップを開くなどしてきました。その後さらにパブリックコメントなど踏まえ、最終原案を策定し8月17日開催の日本一の子育て村推進本部にて提案したところ、もう少し練り直しが必要となりました。当初、



放課後児童クラブを活用する児童

三階席

9月の定例会で議案の上程をする予定を延期するとの報告がありました。本町において子育て、子育て環境づくりへの一人ひとりが果たす役割が大きいことから、地域総掛かりで取り組むことと位置付け、誰ひとり取り残されることなく幸せに暮らせる環境を規定しており、子育て日本一をめざす邑南町らしい条例になることを期待しています。

9月定例会の一般質問は11名が登壇した。提案型の質問あり、疑問を厳しく執行部に問いただす質問ありなど様々であった▼中でも大屋議員と土居教育長との互いに原稿なしの堂々たる論陣を張ったやり取りは圧巻であった。一般質問はこうありたいもの▼議会全員協議会で問題となった『道の駅瑞穂』の借地問題で質問に立った辰田議員。問答を繰り返す中、納得できかねたのか、いきなり引き締まった声で「議会軽視ではないか」の一喝。議場は一瞬ピンとした空気に襲われた。どうなることかと聞き耳を立てていると、そこはさすがベテラン辰田議員、何事もなかったかのように淡々とした質問に戻った▼最後は持論の展開に熱が入ったか少々質問時間オーバー。持ち時間は1時間です。

(純二)

公務員の働き方改革

フレックスタイムを導入

職員も地域の一人として、地域連帯組織設立や、NPO等の設立支援、その運営に携わることにより、地域内での存在意義の再確認を図っていく必要があります。また、育児、介護等により柔軟な働き方が必要となる職員は、今後も増加していくことが見込まれます。

こうした状況を踏まえ、職員の勤務時間の柔軟化を可能とするフレックスタイム制度導入が報告されました。

制度内容は①公務の運営に支障がないと認められる範囲内において、職員の申告を考慮して4週間以内この期間につき1週間当たり38時間45分

となるよう勤務時間を割り振ることができるようになります。②1週間当たりの勤務時間の割り振りにより、週休2日を週休3日にすることができるようになります。

このフレックスタイム制の実施により住民の皆さんに不便をかけることがないように、担当職員が不在であっても適切な対応がとれるよう体制を整えられます。

新たなコロナ対策を追加

8月臨時会で、地方創生臨時交付金（1億642万3千円）を活用した支援を承認。

- 邑南町では、物価高騰や感染対策として次のような支援を決定しました。
- ※産業支援課関係分
 - ・運送業者に対する燃料費補助事業 1℔当たり9.3円を補助
 - ・減収事業者（商工業・農業者）支援給付金事業 100万円以上の売り上げがある事業者への減収支援
 - 個人 最大25万円
 - 法人 最大50万円
 - ・農産物生産継続支援給付金給付事業 水稲10a当たり3千円
 - ※地域みらい課関係分
 - ・自治会活動補助費 自治会ごとに10万円を上限
 - ・公共交通事業燃料費補助金（タクシー事業者） 上昇単価分×使用料×補助率1/2
 - ※教育委員会関係分
 - ・学校給食費 物価高騰対策のため単価上昇相当額を学校給食会に補助
 - ・令和4年度成人式に係るPCR検査などの費用
 - ※福祉課関係分
 - ・保育環境改善等の補助

邑南町行財政改善計画

成果と課題を報告

邑南町行財政改善計画の計画年度は、平成30年から令和4年であり、最終年度の取り組みを実施中ではありますが、現時点での成果と課題について報告を受けました。

成果としては、実施計画の内、「固定資産税全期前納報奨金の廃止」や「組織・機構の見直し」、「定員管理の適正化」な

どについて目標を達成しています。また、他の項目でも、一部実施しているものや職員によるワーキンググループや町民との検討委員会などによる検討中のものもあり、今後成果を達成できるものと見込んでいます。

課題としては、①実施計画の目標について、数値目標等の具体的な目標

設定が少なかつたため、実効性に明確さが欠け、取り組みが進まないところがありました。②実施計画策定後、社会状況の変化や新たな課題（働き方改革、公民館の機能の見直し、内部統制、DXの推進等）への対応など、柔軟な取り組みの見直しが必要と見込んでいます。

以上のような成果と課題を踏まえ、議会では引き続き改善に取り組むよう要求しました。

申請が必要な項目については、申請期間が終了した事業もあります。



窓口の開設時間は変わりません

総務教民常任委員会

久喜銀山を視察



森脇政晴会長の説明を真剣に聞く委員

令和4年7月11日（月）、議会から6名、教育委員会から2名の参加で視察をしました。

最初に、久喜銀山振興協議会代表の森脇政晴さんのご案内で、大林間歩群、久喜精錬所跡、水抜間歩を視察し、説明をしていただきました。

令和3年10月に国史跡に指定される前までは、一部の間歩では入坑することができていたそうです。人ひとりしか通れない間歩もあり、当時のご苦労がうかがえます。

現場視察の後は、9名の保存会のみなさんと史跡を活用した地域振興をどう進めていくのか、意見交換を行いました。

協議会のみなさんからは、具体的な困りごとが提案されました。

- ・案内看板の設置や狭い道路の整備、草刈り。
- ・駐車場の整備や使いやすいトイレの設置。
- ・1箇所でも案内できる間歩の整備。
- ・林間学舎の活用。

などが出されました。行政に対しては、広報活動を積極的ににする。

- ・市内の小中学生の学びの場にする。
- ・保存活用計画策定委員会を早期に開催する。
- などの要望がありました。

久喜銀山は自然や歴史、地学などの地域資源があり、守り維持していかなければなりません。今後、町への提言や議員活動に活かせるようにしたいと思います。

産業建設常任委員会

道の駅用地を視察



現場で担当課からの説明を聞く

産業建設常任委員会のメンバーで、道の駅瑞穂再整備計画の予定地の視察に行きました。

現在の道の駅より左側の国道261号線沿いに計画されており、建物の取り壊しが進んでいます。現地立つと、図面で見るとより広く感じ、完成後の姿を想像すると、ここに道の駅が建つかと感慨深くもありました。

全敷地が町有地であることが再整備の条件だと聞いていましたが、建設課からは、色々検討し

た結果、今回借地とした部分があり、どうしても必要だ。県の了承も得ているので問題は無いとのこと。

そして視察後の委員会の終了時に、もう借地契約済みとの報告があり、議員一同釈然としないまま視察は終了しました。

実際の契約日は7月24日と後日判明しましたが、視察で現地を訪れた9月9日までは、委員会や全員協議会等で多くの議員から意見や提案がありました。

借地とせずに購入済の敷地内でやりくりできないかとの意見が多く、専門的な提案もありましたが、その都度、どうしても借地契約で対応するとの答えが返ってきていました。

こうしたやりとりをしていた中で、もう既に借地契約したとの答弁では、せっかく集まっていた議論も、議員の提案も意味がなかったということになります。

ここからは、辰田議員の一般質問をご参考に。

討論

令和3年度邑南町 一般会計歳入歳出 決算の認定

反対

日高八重美 議員



町長は「令和3年度予算は、生きつらさを感じている方々に寄り添った予算を組む」と言われた。振り返ると、暖房費助成事業や農産物生産継続支援金などの支援はあったが、「誰ひとり取り残さない、人とつながり支え合う町づくり」というメインテーマにどっつながらのかわかりにくい。また、高齢化社会での農業継続に対して、金銭的援助だけでなく、町独

自の具体的な農業支援策が必要だ。

ギガスクール構想についても効果の検証が必要だ。

決算から得られた課題を今後の施策、予算に反映されることを望み、反対する。

令和3年度邑南町 国民健康保険事業 特別会計歳入歳出 決算の認定

反対

日高八重美 議員

国保税高騰の要因に、国庫助成金の引下げがある。1984年の49.8%から2005年には30.6%に激減している。

本町では国保税引下げの努力をしている。また、滞納者へ寄り添った納付援助も行っている。このことは評価するが、生活困窮者の負担軽減のため、国に対し国保財源の増額を求めることを要請し、反対する。

陳情と意見書

地方財政の充実・ 強化を求める意見 書の提出を求める 陳情

採択



総務教民常任委員会
平野委員長

この陳情は、邑南町職員連合労働組合執行委員長、岩本伸司氏から提出されたものです。

現在、さまざまな情勢の変化に伴い、多岐にわたる役割が地方自治体に求められています。

こうした施策の充実・強化をはかり、地域の安心・安全を支える公共サービスのための予算編成を確立するため「意見

書」を提出するよう求められたものです。

総務教民常任委員会で審査した結果、願意に沿い、国に意見書を提出することが適当と全会一致で決しました。

本会議においても、全員賛成で意見書の提出を可決しました。

地方財政の充実・ 強化を求める意見 書

いま、地方公共団体には、子育て、社会保障の整備、地域活性化策、環境対策、行政のデジタル化推進など、より新しく、かつ多岐にわたる役割が求められつつある。

しかし、現実に地方公共サービスを担う人材は不足している中、新型コロナウイルスや、大規模災害への対応も迫られている。

これらに対応するた

め政府は「骨太の方針2021」において2021年度地方一般財源水準を2024年度まで確保するとしているが、増大する行政需要に対応できるのか不安が残されている。

このため、2023年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、コロナ禍への対応も勘案しながら、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立をめざすよう、以下の事項の実現を求め

る。

①増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握し、十分な財源の確保をはかること。

②とりわけ、急増する社会保障二一スに因應するため、人件費も含めた財政措置を講ずること。

③地方交付税の法定率を引き上げ、臨時財政対策債に頼らない、自立的な地方財政の確立に取り組むこと。また、地域間の財源偏在性の是正に向けた抜本的改善を行うこと。

④新型コロナウイルス対

策として、感染症対応業務に限定せず、地域経済の活性化までを踏まえた財源措置をはかること。また、コロナ対策として行った固定資産税の減税措置は2022年度で終了し、今後各種税制の改廃等を検討する際は、地方公共団体の意見を反映すること。

⑤「まち・ひと・しごと創生事業費」1兆円は恒久的な財源とし、その拡充も検討すること。

⑥会計年度任用職員制度は、処遇改善のための財政需要を満たすこと。

⑦特別交付税の配分にあたり、諸手当の支給水準による減額措置を行わないこと。

⑧デジタル・ガバメント化に対する財源を確保すること。

⑨森林環境譲与税は、より林業需要を見込める地方公共団体への譲与額を増大させること。

⑩地方交付税の市町村合併特例終了への対応、小規模自治体に配慮した対策を講ずること。

8月臨時会 議案の ゆくえ

8月16日に臨時会を開催し、次の3議案を全員賛成で可決しました。

「一般会計補正予算第2号」は、7月豪雨災害対策費です。対策を急ぐため専決処分されました。

「邑南町特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部改正」は、不祥事を行った元職員の管理責任を明確にするため、町長、副町長、教育長の給与月額10分1を1箇月減額するものです。

「一般会計補正予算第3号」は、6ページで紹介したコロナ対策、物価高騰に対する支援などです。

9月定例会 議案の ゆくえ

9月定例会の決算認定以外の議案を説明します。

「工事請負契約の締結」は、石見中学校改築工事の契約（4ページ参照）です。

「辺地に係る財政上の計画」は、国の定めた要件に該当する地域で公共

的施設の整備を進めるための計画です。

「一般会計補正予算第4号」は、決算に伴う繰越金の確定の他、邑学館新館別棟整備事業の工事費追加（4ページ参照）、邑智病院本館建て替え工事の工期延長による今年度分減額（4ページ参照）、医療福祉従事者確保奨学基金の追加などです。

その他の特別会計の補正予算は、決算に伴う繰越金の確定などです。

9月定例会 全員賛成にならなかった議案 ○=賛成、●=反対、- =除斥、欠=欠席

区分	議案の内容	奈須	鍵本	野田	日高	瀧田	平野	和田	宮田	漆谷	大屋	中村	辰田	結果
令和3年度 決算	一般会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	

令和4年度8月・9月補正

	当初予算の額	6月補正後の額	8月補正額	9月補正額	9月補正後の額
一般会計	138億6210万円	142億3473万円	1億3251万円	△1億4069万円	142億2656万円
国民健康保険	14億7900万円	14億7717万円	-	1369万円	14億9086万円
直営診療所	1億850万円	1億1750万円	-	385万円	1億2135万円
後期高齢者医療	3億8200万円	3億8200万円	-	190万円	3億8390万円
下水道	10億2200万円	10億1304万円	-	-	10億1304万円
電気通信	6億9100万円	6億9100万円	-	-	6億9100万円
特別会計合計	36億8250万円	36億8071万円	-	1944万円	37億15万円
総合計	175億4460万円	179億1544万円	1億3251万円	△1億2125万円	179億2671万円

令和4年度水道事業会計9月補正

		当初予算の額	9月補正額	9月補正後の額
収益的収支	収入	4億3490万円	-	4億3490万円
	支出	4億1465万円	1157万円	4億2622万円
資本的収支	収入	2億9335万円	1892万円	3億1227万円
	支出	4億7552万円	1892万円	4億9443万円

※千円以下で四捨五入しているため実際の数字と差異が発生しています。

いっぱん質問

質問者と質問内容

順番	議員名	質問内容	ページ
1	奈須 正宜	(1) コロナ禍の子どもの学習について (2) 中学校の部活動について (3) コロナ禍の事業所支援について	11
2	野田 佳文	(1) 町の行っていることの発信について (2) 郷土館について (3) 公式インスタグラム等について (4) 整備後の道の駅における観光情報の発信について (5) おおなんバス実証実験について	12
3	平野 一成	(1) 久喜銀山の今後の活用について	13
4	日高 八重美	(1) 誰もが住みやすいまちづくりを (2) コロナ感染者への支援について (3) 加齢性難聴者の補聴器購入費用の助成 (4) 国葬について を求める	14
5	和田 文雄	(1) 脱炭素の取り組みについて (2) 持続可能な農業の推進について	15
6	宮田 博	(1) 令和3年度の行政活動評価と今後の財政運営について (2) 脱炭素先行地域選定に伴う事業運営等について	16
7	漆谷 光夫	(1) 石見和牛の存続を (2) 霧の湯再開の用途は (3) アグサボ隊の状況は	17
8	鍵本 亜紀	(1) 有害鳥獣対策について	18
9	瀧田 均	(1) 森林環境譲与税の活用とふるさと納税 (2) 道の駅瑞穂の産直市の体制整備は の利用拡大で林業活性を	19
10	辰田 直久	(1) 道の駅完成後の管理や運営方針と設計 (2) 観光戦略の見直しと関連事業との相乗 のあり方について 効果について (3) フレックスタイム制の導入と行政サービスのあり方について	20
11	大屋 光宏	(1) 今後の学校教育について (2) 自治体DXについて	21

ガッテン!! 一般質問

議員となり6回連続で一般質問を行いました。私だけでなく、一期生議員全員です▼『議員必携』の中に、一般質問でよく使われがちな言葉で、不適切な表現という記述があります▼『町長さん、教育長さん』『よくわかりました。ありがとうございます▼』と書いておりました▼『初めの一歩』の時に作成した原稿に『ありがとうございます』と書いておりました▼『先議員に指摘され、削除しましたが、答弁が終わった後、「ありがとうございます」と書いておりました▼』と書いておりました▼12月定例会に向けて、町民の声を活かすことができる質問をするためにも、まだまだ勉強が必要だと思いつつ、次回の質問を考えています。

(野田佳文記)

奈須正宜 議員

学習に遅れは生じてないか



教育長 すべてを取り戻すことは難しい

奈須正宜議員

新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者または陽性者になった場合は、長期間において自宅待機または自宅療養になる。

その間の子どもたちの学習については、どのような対応をしているか。学習に遅れは生じていないか。

植田学校教育課長補佐

学校は家庭と連絡をとりながら、健康観察や課題を自宅に届けたり、学年によってはタブレットを自宅に持ち帰り学習を行っている。

また、学校に登校できるようにになってからは個別に補習の学習を学校で実施し、遅れている学習時間を取り戻すことも

行っている。

奈須議員

課題に対して自宅療養期間が長い場合、自主学習では限界があるのではないかと。

また、補習については教員の負担も増え、自宅療養期間が個人で違うため補習範囲が違い、対応が難しいのではないかと。

土居教育長

発熱や症状がある場合は、家庭学習もままならない状況だ。その状況を見ながら担任は、どれくらいの量を家庭学習で課題を出したらいいか判断する。

補習は、その単元で必要なこと、算数であるとか系統学習で必ずやっておかなければならないようなことに絞って、補習を行うと聞いている。

すべての教科を取り戻すということはなかなか難しい状況だと思う。

奈須議員

すべてを取り戻すのは難しいと答弁があった。自宅療養期間が長い場合、学習に遅れが生じないかと不安に思っております。

れる保護者も多いので、できる限りすべて取り戻せるような対応を望む。

自宅待機、自宅療養中の保護者の方から希望する家庭には、オンラインで授業に参加することはできないかと意見をいただいている。3月定例会

の一般質問において、オンラインでの授業を行う想定がなくなってきたと答弁があった。

しかし、町内での感染拡大に伴い自宅待機や自宅療養の頻度が増えていることも踏まえて、オンラインでの授業を進めていくべきではないかと。

植田学校教育課長補佐

すべての学年ではないが、可能な授業はタブレットを持って参加している。

また学習が遅れないようにデジタルドリルでタブレットを使って家庭学習や、今まで通りの学習プリントなどを行いなからやっています。

子どもによっては学習効果が異なるということもあり、自宅療養中の家庭での学習のあり方を、

それぞれで考える必要がある。

オンライン学習でのタブレットの利用方法、最適な学び方、学習、学校の対応を含め条件の整備を考える必要があるのではないかと考えている。

オンライン学習は、1つの手段と考えた方がいいかと思っ

奈須議員

GIGAスクール構想で、1人1台のタブレット端末環境の構築が行われた。しかし、なぜ今年度の1年生には、もう半年が過ぎようとしているのに、配られていないのか。

植田学校教育課長補佐

いきなり情報端末に入るのではなく、今までの紙をベースにした教科書に親しんでいただいたりとか、過程を経て情報端末に触れていた方がいいかと思っ

その他の質問

奈須議員はその他にも、中学校部活動について、コロナ禍の事業所支援について質問し、地域振興券の発行について提案しました。



野球を頑張る子どもたち

郷土館でのイベント時の発信を可能に!

野田佳文 議員

課長 方針等を検討する

野田佳文議員
郷土館でのイベント時に1点でも良いので、撮影と発信を可能にすること、整備後の道の駅で郷土館の展示品を展示することを提案する。

三上生涯学習課長
県立古代出雲歴史博物館など類似施設において、SNS等での発信についての規制は緩やかになっている。SNS等、有効な情報発信のツールとして位置づけ、導入に向けて運用に関する方針等を検討する。

整備後の道の駅においては、郷土館や関連する施設や遺跡の見学につながるよう、郷土館に展示してある収蔵物に関連した資料等を展示するな



ど、郷土館の来館につながる情報の提供、発信について検討する。

田村地域みらい課長
展示スペースや展示品を検討の上ではあるが、再整備後の道の駅における郷土館の資料を展示することに關しては、可能であると考えている。

また、展示の有無とは別に、道の駅の来客者に郷土館への来訪を促す方法や掲示内容の紹介などをどのように案内をし、情報を発信するか今後検討を行いたい。

野田議員
郷土館でのイベント時の発信については、現場の方と相談して、混乱のないようにお願いするとともに、自分も確認に行く。

問 実証実験便の更なる周知を

野田議員
おおなんバスの実証実験便を多くの方に利用していただくためにも、さらなる周知が必要だ。

答 ケーブルテレビでのPRを検討する

田村地域みらい課長
おおなんバス実証実験便は、邑南町バス路線再編計画の中で予定されていて、邑南川本線の再編案の実証実験便である。運行しているのは、田所道の駅から邑南町役場までの路線で、出羽、高原、馬野原を通り、国道

261号線に出るルートで、便数は平日の午前中の2往復を運行している。

実証実験開始前の8月に、チラシを全戸配布した。併せて、町のホームページにも掲載している。今後は、ケーブルテレビでのPRの検討を今、始めています。

乗車された方のご意見をいただきながら、ダイ

ヤの変更も考えているので、多くの方々の利用を期待している。

実証実験便については、その都度、ケーブルテレビ、邑南町公式アプリ、防災行政無線、広報誌などにおいて周知を図っていきたい。また、実証実験便のバスの中にもチラシを置くことにしている。

野田議員

3月31日までに実証実験便の時間帯を変更する場合はあるのか。

田村地域みらい課長
ダイヤは完成形ではないので、今から乗られた方々の意見をいただき、変更する場合があります。その時に告知をする。

その他の質問

野田議員はその他に、町の発信について、公式インスタグラムについて、整備後の道の駅における情報発信について質問しました。



田所駅で待機中のおおなんバス実証実験便

平野一成議員

国史跡指定後の久喜銀山遺跡の活用は



課長

保存活用計画に沿って整備する

平野一成議員

久喜銀山遺跡が国史跡の指定を受けた。その価値はどこにあるか。

三上生涯学習課長

文化庁によると、銀や鉛を産出する鉱山の採掘から製錬までの過程に使用された遺跡等の調査例はこれまでになく、中世から近代の日本の銀生産技術を示す優れた数少ない遺跡である。石見銀山遺跡の世界遺産登録に向けた調査の中で、久喜銀山も注目されていた。

平野議員

遺跡そのものの価値とともに、地域の皆さんによる取り組みも評価されたと理解しているが、国史跡指定後の保存活用の動きについて問う。

三上生涯学習課長

記念式典・現地見学会を開催し、発掘調査の結果を報告した。今後は銀山展や講演会、ウォーキングイベントなどを予定している。また、地元保全委員会やNPO法人などと協力して史跡整備やガイド育成を行っていく。

平野議員

保存活用計画はどのようなっているのか。

三上生涯学習課長

現在の指定範囲は、久喜・大林・岩屋地区の一部にとどまっている。保存活用整備には、史跡の本質的価値を明確にし、適切に保存するための基本方針や現状変更等の基準を策定しなければならず、基本的に文化庁の計画承認が必要となる。

平野議員

来訪者をもてなすために地元の皆さんが強く要望されている。間歩・煙道の保全やトイレ・駐車場などの整備は町が早急に取り組むべきと考えるがいかがか。

三上生涯学習課長

進入路や煙道などの史跡に指定されている部分は文化庁の許可を必要とする。周辺の関連施設も史跡を保存・活用する中で史跡の歴史的価値を高めていくことになり、これも文化庁の許可を得ながら保存活用計画の中で示すことになる。現在の指定地域周辺も、今後追加指定になる可能性もあり、慎重に協議をしなければならぬと考える。

土居教育長

今後策定される計画に即したうえで、国の支援を受けたいと動けない実情もある。

平野議員

地域から強い要望がある久喜林間学舎を、銀山遺跡の拠点として早急に活用できるように求める。

白須産業支援課長

久喜林間学舎は、久喜銀山の中心的な建物になることは認識している。しかし、やはり今作成中の保存活用計画や整備計画の中で検討していくことになる。

平野議員

第2のふるさとづくりプロジェクトとは。

石橋町長

地元の保全委員会でも、高齢化の中で後継者づくりに苦労されている。この中で、どうすれば人を呼び込み賑わいを創出できるかを挑戦した事業だ。この事業で関係人口を築きながら賑わいを作っていくことをめざしている。

平野議員

道の駅としての魅力を高めるため、久喜に限らず、郷土館、ハンザケ自然館、ニツ山などの歴史的遺産や町内各地区で掘り起こされている貴重な資源を、新しくなる道の駅でどう表現するか。

田村地域みらい課長

道の駅の機能として、休憩機能・情報発信・地域連携の機能がある。どう整理するかは建物内のスペースや提供内容を検討する必要がある。行政や地域の団体などと連携して情報収集、スタッフの知識取得等が必要となる。



早期の活用再開が待たれる久喜林間学舎

ジェンダー平等の視点で町政運営を！

日本共産党 日高八重美 議員

町長

誰もが活躍できる職場づくりをめざす



日高八重美議員

誰もが住みやすい町づくりをめざす取り組みの中で、町長もジェンダー平等の視点で行政を進めていく姿勢であると理解している。昨年7月に邑南町男女共同参画委員会での町民の意識調査を行っている。その結果の概要を問う。

河野町民課長

第二次邑南町男女共同参画計画を策定し5年を迎えた昨年、町民の生活実態や意識の変化を比較検証した。「性別による役割分担の平等感」では、男性優遇と答えた人が70%近くある。男女の格差が様々な分野で生じている現状が今もある。

日高議員

今後、この調査結果をもとにどのように町政に反映させていくのか。

河野町民課長

政策方針決定の場において、男女比率の偏りがなく幅広い立場の方々に参加していただく事が大切となる。女性の参画率を上げるとともに、誰もが参加しやすい審議会・委員会になるよう各分野で見直しを行う。

日高議員

性的少数者にとつて、町内は生活しづらいという意見がある。意識を変えるには学校教育の場での取り組みが必要との意見があるが、現状はどうか。

土居教育長

学校の役割は大きい。人権教育の徹底、相談体制をしっかりとすること、学校の環境を改善すること、の3点を取り組む。教職員には、多様性教育の研修をおこなっている。今年度、トイレを改修した学校では、「みんなのトイレ」を設置し、その活用について研修が

できるよう要請している。新しくできる石見中学校のトイレや更衣室についても生徒の意見を設計に反映している。

日高議員

対家の児童・生徒が困らないよう、制服やトイレ、更衣室など周囲の大人が配慮していただきたい。

行政でのジェンダー平等に対する町長の思いはどうか。

石橋町長

役場からどういうふうなジェンダー平等を取り組んでいくか、ということが大事だ。性別に関係なく、みんなが活躍できるような職場づくりをしながらはいけない。そのために、小さな時から男女の区別なく、お互いに力を発揮できるように学校教育が大切。特に*プライベートを通じた学習が必要ではないか。

町政座談会のあり方も検討していく。「女性活躍・子育て応援企業認定及び表彰制度」で表彰しているが、その理由も見える化する必要がある。

問 国葬に対する見解は

日高議員

安倍晋三氏の国葬は法的根拠もなく、憲法にも反している。町長はどう受け止めているか。

答 子どもたちへの説明をどうするか

石橋町長

町民には、様々な意見があると思う。邑南町としては、特に予定は考えていないし、国葬に参列する予定もない。子どもたちへの説明をどのようにするか、教育現場で混



乱が生じないか懸念している。

その他の質問

日高議員は、「コロナ感染者及び濃厚接触者が自宅療養になった場合、町の役割の確認と、国保事業主にも傷病手当金を支給できるようにすること、高齢者の聞こえに関する調査を実施することや加齢性難聴者の補聴器購入費助成を求めました。

*プライベート

一定のテーマについて、賛否2つのグループに分かれて行われる討論

和田文雄議員

脱炭素に取り組む意識は

町長 エネルギーの自給をめざす



和田文雄議員

邑南町では、脱炭素への取り組みの一環として、今年の2月には邑南町と民間事業者が共同で出資する「おおなんきらりエネルギー株式会社」を設立した。再生可能エネルギーの地産地消に取り組むとのことだが、前提として、本町が脱炭素に取り組む意義、また必要がある理由について問う。

石橋町長

本町では、脱炭素環境問題に取り組むだけではなく、さまざまな地域課題があり、その地域課題解決の手法のひとつとして、取り組んでいきたい。

再生可能エネルギーを活用することは、地域内

で再生されることから、電気料金も地域内で循環することが、経済の活性化に寄与していくことと考える。

エネルギーの自給をめざすことが大きな目的で、住民の生活の豊かさに繋がっていくと思っ

和田議員

環境だけではなく、経済的なメリットがあるという広い観点からとらえる必要性を認識した。「おおなんきらりエネルギー」の重要性は大きいものと考ええる。

そこで、本町が取り組むPPA事業とはどのような仕組みか。

田村地域みらい課長

公共施設、事業所、一般家庭、住宅などの建物の屋根や、遊休地などに、発電設備事業者が無償で設置し、発電された電力を所有者が購入し消費する仕組みである。初期投資、契約期間中の保守メンテナンス費用が発生しないことから、近年活用されている。

和田議員

邑南町が脱炭素先行地域の事業計画にPPAの仕組みを盛り込んだ狙いは何か。

田村地域みらい課長

発電から電力の供給を町内の事業者で完結することができると。現在本町の電気料金が、年間約6億円から7億円外の発電事業者に流出しているのが現状で、これに歯止めをかけるのが狙いのひとつである。また電力事業を通じて、発電設備の保守管理など新たに産業の創出が期待される。

和田議員

電力供給以外にも、脱炭素に向けた取り組みを検討しているか。

石橋町長

本町のCO₂の排出量は8万1800トンあり、運輸部門が一番多く32%、次いで農業分野が14%ある。これらについても今後重点的な取り組みとして、具体的に考えていきたい。

田村地域みらい課長

電力以外の取り組みとして現在、具体的に検討している。



開所式のテープカット

ているのは、再整備を進めている道の駅瑞穂での地中熱を活用した融雪設備・空調設備の導入、豊富な森林資源を活用したバイオマス熱利用など考えている。

今後も、地域課題の解決に伴う取り組みとして、脱炭素社会の実現に向けて進めていきたい。

問

みどりの食料システム戦略は

和田議員

この戦略は、今後の農

答

有機農業を推進

石橋町長

これまでの取り組みをさらに深め、農業の担い手確保、農業生産の収益性を向上するためにも、有機農業を一層進めていきたいと考えている。

令和3年度の行政活動評価は

宮田 博 議員

町長 総合評価では反省点もある



宮田博議員

令和3年度は、町長が施政方針に掲げたメインテーマ「誰ひとり取り残さない、人とつながり支え合うまちづくり」に基づき、行政活動を展開した。

各施策と事業の必要性や推進状況について、分かりやすく町民への説明責任を果たすことも重要であると考えます。

施政方針に基づき進めた行政活動の総合的な評価を求める。

石橋町長

3年度は、「誰ひとり取り残さない」ことを一番に考え、町民に寄り添う予算編成となるメインテーマと重点項目とした。

日本一の子育て村をめざし、子ども達に対応した諸事業のほか、「誰もが生涯現役」を視点においた事業など、評価をした約100の事業については、「反省する点もあり、総合評価では不十分な状況も感じる。」

宮田議員

今後は町民の皆さんに理解していただける行政評価と公表を求める。

3年度は、一般会計、特別会計共に黒字決算であり、財源の不均衡を調整する、財政調整基金も5億円を確保した。

現在進めている、石見中学校、公立邑智病院、道の駅瑞穂等の大型事業については、原材料価格の高騰を受け、これまでも事業費の増額補正や、計画変更が行われている。

今後、関連の建設事業費の増額を必要とする場合に、他の建設事業や事務事業を圧縮する等、財政に与える影響があるか。

三上財務課長

三つの大型事業の予算額は約39億円7千万円

となり、起債予定額は37億4千万円となることから、4年度中の補正予算は、起債枠を考慮すれば、厳しい状況を予想する。

大型建設事業の中には当初から予算を増額している事業もあり、6年度の起債枠を考慮すれば他の事業への影響はあると考える。

問 脱炭素先行地域の選定を受けて

宮田議員

本町は脱炭素先行地域第1回選定で、全国でも26件の中に、島根県では唯一選ばれた。

この事業の対象は、矢上、中野、田所地区と公共施設群となっているが、本町における事業の平等性を図るために対象地区の拡大の予定はあるか。

答 エネルギーの地産地消をめざす

田村地域みらい課長

脱炭素先行地域の応募

条件は、先行エリアに対して、CO2の排出を伴わない電力を100%供給する定めがあり、町内でも人口が集中する3地区をエリアに選定し、計画を策定した。

今後、確保できる発電量により、環境教育と協議の上町全体へエリアの拡大や事業内容の充実を図れば、電力の供給先は、全町が対象となり、平等性は図られる。

宮田議員

PPA事業者に対する職員派遣を含め、事業者の財務、並びに経営全般について、町はどのように関与するのか。

石橋町長

おおなんきんりエネルギー株式会社は、邑南町と民間事業者10社で設立し、本町が資本金のうち50%を出資する、脱炭素先行地域事業の共同提案者である。

第3セクター等への職員派遣は法的に出来ないが、経営健全化に関する指針に基づき、経営状況の把握や監査を実施し、財務と経営の管理を積極的に果たす。

漆谷光夫 議員

石見和牛の存続と畜産振興を



町長

肥育センターの後継者確保が重要

漆谷光夫議員

JAしまねが和牛肥育センターの運営から撤退する方針を決めた。

石見和牛は邑南町を代表する食材と考えるが、その価値をどのように見ているのか。

石橋町長

石見和牛肉は広く町民に愛され、町外の消費者や飲食店の評価も高いと聞いている。A級グルメなどの本町が進める食を通じた町づくりに欠かせない地域資源となっている。ふるさと納税の返礼品としても一役買っている

と認識している。本町を代表する食材として価値を位置づけている。

漆谷議員

9月5日、JAから

「直営は廃止するが事業譲渡を前提に考える」と回答があった。肥育センターの存続に向けて後継者探しや支援にどのよう

に関わっていくのか。

石橋町長

肥育センターは石見和牛の生産施設であり、繁殖農家の経営を支える重要な施設と考えている。

本町の畜産振興や石見和牛肉のブランドを維持する為には、現在の状況では肥育センター後継者の確保が最重要課題と考えている。

後継者確保はJAが主体的となり進められるが、邑智郡畜産振興緊急対策本部も情報を共有し、後継者確保に向けての支援についても検討事項にしたい。

JA任せでなく郡内の3町が協議し、県とも連携して進めていきたい。

漆谷議員

石見和牛の存続は肥育センターの維持と同時に子牛生産者など畜産業全体の振興を考えていく必要がある。本町の畜産振

興をどのように取り組んでいくのか。

白須産業支援課長

肥育センターが地元にあることにより、繁殖農家は子牛を買ってもらえる安心感がある。

肥育センターを中心に畜産農家、矢上高校、関係機関が連携し、畜産業の振興に取り組みべきと考えている。肥育センターの後継者にもご理解いただきよう働きかけていきたい。

問

霧の湯再開の状況と用途は

漆谷議員

霧の湯は1月17日から約8カ月間にわたり閉館している。このことに町民の皆様から厳しい声をいただいている。町民の厳しい声をどのように受け止めているのか。再開の用途はどうか。

答

早く方向性を見出したい

石橋町長

霧の湯の再開について

は大変ご迷惑をかけている気持ちで一杯である。

指定管理者と条件さえ整えば、一刻も早く再開したいが諸事情でなかなか条件が整わない状況である。

当初から霧の湯・香遊館については指定管理料を払っていないが物価高騰など状況が変わっている。指定管理者のウエルストとの協議では再開するために3000万円近い指定管理料が必要となる。その財源が厳しいと

その他の質問

漆谷議員は地域おこし協力隊「アグサポ隊」の農業研修生へのサポート体制の充実と就農率、定住率の向上について質問しました。



「石見和牛」生産施設の肥育センター

有害鳥獣被害が深刻

鍵本亜紀 議員

町長 国に訴えて行く時期に来ている



鍵本亜紀議員

有害鳥獣の被害が深刻だ。県と協力して二ホンシカ重点捕獲事業を継続中だと思いが、効果や実績は。

白須産業支援課長

二ホンシカが急増している地域での島根県指定管理鳥獣捕獲事業。生息密度の低い地域での効果的な捕獲方法を実証している効果的捕獲推進事業。夜間に生息頭数を調査するライトセンサスの3つの事業を実施している。また、昨年度まで実施していた二ホンシカ捕獲事業でも、年々捕獲頭数が増えている。

今年度は町の単独事業として、二ホンシカの捕獲促進のための埋設処分

費の助成をしている。捕獲実施者との研修も行っており、捕獲増加に繋がっていると考えている。

鍵本議員

シカやイノシシだけでなく、外来種のヌートリアやアライグマも増えてきているが、邑南町では捕獲しても報奨金が出ないのなせか。

白須産業支援課長

ヌートリアやアライグマが増えていると報告がある。主に家庭菜園などへの被害が多く、農家の方の意欲減退を招いている。現在町としての捕獲

報奨金は、イノシシ、二ホンシカ、二ホンザルを対象としているが、こちらの被害も収まらない状況なので、現在の内容を維持したいと考えており、新たに対象を増やすことは考えていない。

ヌートリアやアライグマは、特定外来生物捕獲講習を毎年受ければ、狩猟免許がなくても捕獲できる。

鍵本議員

増えすぎては困るし、令和2年度の鳥獣被害防



オリから逃げようとするアナグマ

止計画にあるように、町内から一掃することを最終目標とするのなら、特定外来生物捕獲講習を受けた方にも報奨金を出すことはできないか。

白須産業支援課長

報奨金は考えていないが、有害鳥獣に関しては鳥獣被害対策協議会などで、様々な方の意見も聴きながら、引き続き検討していく。

鍵本議員

獣を捕殺することは、作物が被害にあうという怒りが原動力になっているとはいえず、良心が痛む辛い作業だ。実際農を仕掛け、見廻り、捕れていたら止め刺し、水に浸けて冷やし、次の日に解体。予定が狂う大変な作業

解体処理施設もお願い

だ。命はありがたくいただかないと申し訳ない。専従で狩猟ができる地域おこし協力隊に来てもらえないか。

白須産業支援課長

邑南町では、集落全体で取り組む体制づくりのため、箱罾の購入助成や狩猟免許取得補助などの支援や、有害鳥獣捕獲補助員の講習会を開催している。

有害鳥獣捕獲班員

140名の内、25%の方が二ホンシカをくくり罾で捕獲している。専従の捕獲員を新規に確保するより、捕獲員の技術の向上や捕獲率を上げることが効果的だと考える。

鍵本議員

解体処理施設もお願い

したい。食糧危機が来るのではと心配している。これからは町長も言われるように、自給できることが大切だ。町内で捕れたイノシシやシカを肉にして町民に供給できないか。

石橋町長

肉にすることも大事だが、被害をなくすことが一番大事ではないか。誰ひとり取り残さない支え合つまちづくりをめざす上で、まさに深刻な問題だ。最近では都市部でも被害が出ている。狩猟を職業とする準公務員のような位置付けでの制度改革が必要ではないか。

森林環境譲与税も、こういうことに使えるようにする等、国に訴えて行く時期に来ている。

鍵本議員

捕獲するばかりでなく共存という意味で、ヤギを放し飼いにしてサル被害がゼロになった事例もある。集落だけでなく個人の範囲での防護柵の支援も欲しい。

邑南町の避けては通れない大事な問題だ。

瀧田 均 議員

配分基準是正を国へ要望すべき



町長

県内の動向を踏まえ今後対応する

瀧田均議員

森林環境譲与税の配分基準を再検討し、林業需要の少ない都市部に高い割合で税源を配分し、林業需要の多い山間地エリアの自治体に譲与額が少なくないという現実は是正しなければならない。

町長は、市町村を支援する立場の県知事とともに現行の基準を是正するよう、国へ要望すべきだ。

石橋町長

そうした要望は必要だという思いはあるが、島根県内の自治体を含め地方の自治体で、森林環境譲与税はもらっているが使わずに基金に積み立てているところが結構あり、都市部に限らないという実態が分かっています。

た。

森林環境譲与税を森林整備の促進等に活用して事業実施を定着させることへの意識改革が重要で、それが定着したうえで都市部に対しての問題を提起することではないと、国としては基準是正の見直しを受け入れてくれないのではと危惧している。

島根県の町村会を含め、今すぐ県知事と一緒に県内の首長が問題提起をして、是正してほしいと行動を起こすことは、税源の活用が定着していない現状を勘案したとき、適当な時期とは考えられていない。

令和6年度の見直しに向け、実態や動向を踏まえて取り組むことが町村会等で検討されることとなるので、本町も情報共有しながら今後対応していきたい。

瀧田議員

本町のふるさと納税返礼品は、現在かなりの種類があると聞いています。その中で、最近「ヒノキベッド」が人気商品と

聞く。返礼品として注文がさらに増えるよう取り組み、ふるさと納税が増額することを期待する。

今後は、製材生産者の支援も森林資源活用への出口支援として重要と考えますが、本町は製材生産に對しての支援をどのように考えているか。

白須産業支援課長

事業者の生産拡大においては、木材製品だけに限らず既存の補助事業などの活用により、支援していきたいと考えています。

木材製品については、単にふるさと納税の増額に向けてという意味だけでなく、地域の森林資源の利用促進により、森林環境の保全、林業振興、地域経済の活性化、さらにCO2削減に寄与するという幅広い効果が見込める。

森林環境譲与税などの財源を活用して、町内の林業木材産業に対する支援として担い手育成や施設整備などの助成を行っているところである。今後、引き続き必要な支

援は行っていくと考えている。

問 道の駅の名称を公募等で一新しては

瀧田議員

白須産業支援課長

道の駅の名称を「道の駅おおなん」等にするなど、公募等により本町の新たな観光施設の位置付けにすべきと考えるがどう考えているか。

答 公平公正で納得できる名称に

石橋町長

事前の説明会で、例え

ば「おおなん道の駅」のように町全体を表すような名前に変えたらという意見をいただいた。納得いただける名称にした。

瀧田議員

開業に向け体制整備を一刻も早く構築された。

白須産業支援課長

産直市企業組合の方で、今春から新たに専門職員を雇用され、出荷者の取りまとめや出荷品がより集まる仕組みも進めている。しっかりと開業に繋げていきたい。



ふるさと納税で人気のヒノキベッド

事後の承認行為は議会軽視だ

辰田直久 議員

町長 反省し、二度とないようにする



辰田議員

道の駅計画用地に借地の存在は事業の性質上で不可とのこと、議会は当初用地の変更を承認したが、新たな敷地にも一部借地が存在するらしいが、その経緯は。

上田建設課長

用地交渉には努力してきたが、地権者の意向により、一部を借地管理とした。県とも協議を行い安全性確保や環境保全のために必要であると判断している。

辰田議員

経緯の中で8月と9月の産業建設常任委員会において、現地説明を含めた借地解消のための議論をしてきたが、すでに7月末には借地契約を結ん

でいたことは不適正であり、議会軽視ではないか。

上田建設課長

事後報告となったことは反省すべきところであるが、契約相手のあることでタイミングもあり、先に進めてしまい報告が遅れた。

辰田議員

町民が大きな関心をもつ事業であり、丁寧な経過説明の必要性と町長も自ら借地契約では公印を押し承認している点はどう考えるか。

石橋町長

皆さんの理解のもとで事業を進めることが大事であり、押印した本人としても二度とないようにやっていきたい。

辰田議員

状況を踏まえ令和6年度竣工に限らない弾力的な対応が可能なら、主体施設以外の竣工は先送りする考えはないか。

田村地域みらい課長

未だ計画段階のものもあり今後は多少の変更はあるかも知れないが、令和7年度開業を目指している。



辰田議員

総工費29億円という数字が独り歩きしているが、完成後の年度ごとにかかる町負担の経費や雲井の里等の法人や町民への配慮と協働、また、現存する道の駅跡地の処分についての試算や計画は。

田村地域みらい課長

指定管理者との協議も踏まえ具体的な金額については未だ詳細に詰めていない。雲井の里や町民とは定期的な会議を持ち連携を図りながら一緒に運営を考えたい。

白須産業支援課長

跡地は整理して返却するのが基本だが、施設の必要性や地権者の意向を踏まえて対応する。

問 観光戦略の見直しを

辰田議員

コロナ後の対応のためにも町の資源を見直し、名所旧跡やフルーツ、野菜などの特産品を最大限に生かす整備のほか、行政や関係機関を含め、A級にこだわらない町全体での横や縦の連携を図る

べきではないか。

答 町民全体で見直しを図る

石橋町長

A級グルメの町といってもニーズに添えられていない部分もあり、商工会等とも相談しながらやっていきたいが、やはり多方面で町民全体がおもてなしができるような取り組みが必要と考える。そして、新しく設置した観光推進事業を行う産業支援課において、関係先への支援事業も一体的に行い徐々に効果も出ていると思う。

その他の質問

10月より町職員のフレックスタイム制(7時〜22時の間で時差出勤が可能)が導入されるが、本人や町民に対するメリットやデメリット、行政運営上での開庁時間や経費面への影響と事業予算の軽減に繋がる職員採用の工夫の必要性について質問した。

大屋光宏 議員

財政状況は学校統廃合の引き金となるか



町長 ならない

大屋光宏議員

石見中学校の改築工事が始まった。今後、順次小中学校の建て替えが必要となるが、財政状況は統廃合の引き金となるか。

石橋町長

統廃合と財政状況は別問題である。基金の積み立ても行い、財政状況が統廃合に影響を与えないよう財政運営を行っている。

大屋議員

コロナ禍におけるタブレットによるオンライン学習のメリットは。

土居教育長

他者と協力しての問題解決、自己表現力など社会の変化の中で、子どもたちに求められる能力。

学力も変わってきている。

オンライン学習は時間や場所を選ばず学習できること、多くの人とつながることや著名な人の講義を聞く機会が得られるなどのメリットがある。

しかし、体験することや教え合う機会が少ないため学習の定着に課題がある可能性がある。

これからは、学び方の多様性も考えてオンライン学習のメリットと対面学習を組み合わせていくことが必要と考える。

大屋議員

長引くコロナ禍において子どもたちは多くの影響を受けてきた。成長著しく多感な小中学校期をコロナ禍で過ごした子どもたちに対して、今後何が必要か。

土居教育長

コロナ禍により子どもたちは「つながり」を失った。これを復活しなければならぬ。

主体的に好ましい社会を構想し、運営し、改革していく能力として島根県教育ビジョンの中に

「社会力」という言葉が出てくる。本町の「地域学校」は大人と関わり社会力を養う良い機会である。

ネット社会では、語彙力や情報収集による情報活用能力も重要と考える。また、課題解決能力として、コロナ禍における学校行事の内容を、子どもたちみずからが主体的に考えることも大事になってくる。

大屋議員

本町は財政状況で統廃合を考える必要はないので、コロナ禍を含め社会の変化の中でどのような教育が理想なのか、そして小中学校はどうあるべきかを考える余力がある。

土居教育長

コロナ禍の経験を踏まえ残すべき邑南町の教育の良さは何か。

小さい学校を否定的に考えるのではなく、ネットで国内外を問わずつながることや大学の研究室を訪問するなど小回りの良さや行動力など、小さいからできる良さを生か

していきたい。

問 自治体DXは誰のために

大屋議員

自治体DXは誰のためにおこなうのか。

答 住民のためである

柳川情報みらい創造課長 目的は、いつでもどこでも、行政手続きなどが安全に行えるようにすることである。行政側も、

事務を効率化することで人的余裕が生じ、災害対応や新たな取り組みを安定的に行うことができる。

大屋議員

自治体DXをすすめる と便利になるが、入力ミス等は住民の責任となり住民にとってはリスクが高まるのではないか。

柳川情報みらい創造課長 リスクがないわけではない。また、職員もIT任せではなく制度等の熟知は当然必要である。



タブレットを活用する児童生徒

バス路線再編に向けて

町営バス路線の再編に向け、実証便の運航が始まりました。それに試乗した議員が感想をまとめました。

バス路線再編計画

おおなんバスについて路線ごとに移動ニーズ、路線の継続の分析・検証を行い、再編にあたって検討のための資料となる

再編路線案を令和3年3月に作成しています。

生活交通検討委員会、近隣市町、学校、病院、公共交通事業者、住民、利用者等への説明・意見聴取を行い、原案修正を

行いながら、令和5年度末までに再編路線を決定していく予定です。

令和3年度末までの段階では、町内利用者に向けたアンケート、生活交通検討委員会での意見集約で再編路線について概ね良好な意見をいただいています。

実証便の運行

今後は、実証実験を実施し、利用者、委託業者等の意見を参考にしながら、生活交通検討委員会を随時開催し、路線、ダイヤを決定します。

おおなんバス「邑南川本線」に出羽・高原方面の路線を追加する計画があり、その実証運行を実施中です。

運行期間は、令和4年9月1日から令和5年3月31日までで、平日のみの午前中2往復です。料金は、期間中無料です。

9月1日のおおなんバス実証実験便の乗降者は延べ14人でした。

田所駅から石見高原駅までに向かう途中に1名石見高原駅から1名の乗車があり、それぞれ邑智病院、役場にて下車されています。

役場から田所駅に向かう便の途中、5名の乗車があり、三上医院、道の駅等を利用されています。この便を待ち望んだ声

「田所駅8時55分の出発時間をもう少し早くしてほしい」
「田所駅周辺で用事ができるよう、帰りの便までの時間をもう少し長くしてほしい」と言った声もありました。

今後、多くの意見を聞くためにも、更なる周知が必要です。より良い生活交通網となるよう皆さんのご意見をお寄せください。

おおなんバス実証実験便 問い合わせ先

邑南町役場地域みらい課
TEL：0855-95-1117
I P：050-5207-3019



邑南町役場に停車中のおおなんバス実証実験便

【主な変更点】

図：再編路線(原案)のイメージ ※原案を基に説明、意見聴取、修正を行いながら路線を決定

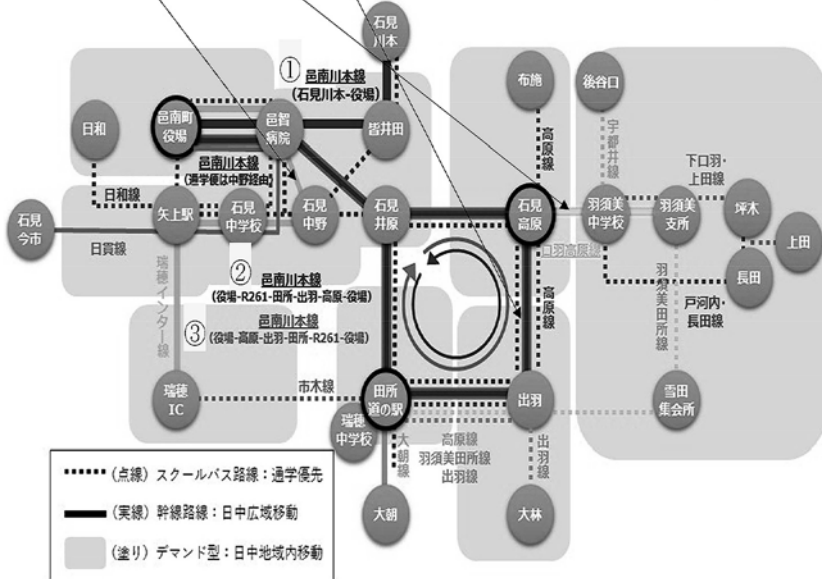
●邑南川本線に石見高原・出羽経由を設置。朝夕通学便の1台は現通学経路(紺色点線：三坂～田所～中野～矢上～川本)を維持、もう1台は石見高原経由(紺色点線：田所～出羽～高原～中野～矢上)で運行したい。

日中は①石見川本～役場(紺色実線)、②役場～田所～出羽～高原～役場(紺色実線)、③役場～高原～出羽～田所～役場(赤色実線)の3区間で運行したい。

●口羽矢上線を口羽高原線に変更、石見高原で、矢上方面、田所方面へ乗り換えるようにしたい。

●瑞穂インター線を石見中野まで延長。

●ふくし号 やまびこ号による運行を自宅前から乗車できるようなりデマンド型にしたい。



路線再編後の邑南町の生活交通網

町民議会を開催します



邑南町議会では、多様な町民の意思を町政に反映するため、町民議会（模擬議会）を開催します。

開催日：令和4年11月4日（金）

開会時間：午後1時30分

場 所：邑南町役場3階議場

傍聴をご希望の方は議会事務局までお問い合わせください。

T E L : 0855-95-1113

I P : 050-5207-3021

第15回 議会意見交換会を開催しました

コロナ禍の中ではありましたが、感染症対策をし、議会意見交換会を無事開催することができました。

本年度の議会意見交換

は。

会を8月1日、4日、9日に開催しました。コ

○高齢化による農業の担い手不足。

ロナ禍の中でしたが、128人の方に参加して

○脱炭素先行地域の指定を受け、どのような事業を進めるのか。

いただきました。

○空家の活用をもっと積極的に進めるべき。

主な内容は次のとおり

○石見和牛の存続についての町の対応は。

再開の見通しは。

○道の駅瑞穂について、

面積に対する費用対効果

などをしっかりチェックしていつてほしい。

○自治会の統合を応援してほしい。

○町内の観光資源を観光ルートの開発と紹介を。

○公民館の審議委員、審議会は何をするところなのか。

9月定例会の一般質問

において、ご意見を取り上げた議員もいました。皆さまからいただいた

ご意見は、議会活動の向上、個々の議員活動、町政に反映していきます。

詳しくは内容を取りまとめた各公民館に配布します。ご覧ください。

参加者数

開催場所	参加者
□羽公民館	12
井原公民館	10
中野公民館	15
矢上公民館	12
出羽公民館	8
日貫公民館	21
布施公民館	15
市木公民館	10
阿須那公民館	7
日和公民館	6
高原公民館	4
田所公民館	8
合 計	128



たくさんのご参加をいただいた日貫公民館

趣味とおしゃべりは元気の源



気軽に来ちゃんさい！

阿須那地区 クラフトサークル

今回は、阿須那公民館で活動をされている「クラフトサークル」をご紹介します。

「クラフト」というのは、再生紙を利用した荷造り用テープのことで

す。そのクラフトテープを利用して作品づくりをしています。

サークルが発足したのは、平成27年の秋。仕掛け人は光田久栄さんです。素敵なクラフトのバッグを持たれていた磯部マリエさんに声を掛け、すぐに未経験者10数人が集まりスタートしまし



阿須那公民館まつりで展示された作品

た。初めて作った作品は「鍋敷き」。編み方の基本

が理解できると、あとはテキストを見ながら、それぞれが自由に作品作りをどんどん進めていきま

す。戸河内自治会館でも活動をしています。

今年の秋で丸7年になります。

長く続けられてきたコツは何ですか？

みなさんの声

「みんなと会ってしゃべることが楽しみよね」

「コミュニケーションは大事だね」

「趣味を持つことが元氣

の源かね？」

みなさん、インタビュアーの間も手は休まず、それぞれのペースで和気あいあいとゆったりとした時間を過ごされています。

完成した作品は、3月の阿須那公民館まつりで

展示しています。機会がありましたらぜひ見に来てください。

サークルにはどなたでも参加できますので、興味のある方はお問い合わせください。

町内にはたくさんの方のサークル活動があり、交流の場になっています。集

ってワイワイ話をするところが生活にハリをもたらしているんですね。

今回はそんなサークルのひとつをご紹介します。

阿須那公民館

毎月第1火曜日

午後1時半～3時半

戸河内自治会館

不定期の木曜日

午後1時半～3時半

お問い合わせ先

阿須那公民館

電話・88-00001

参加費・1回100円

(聞き手・日高八重美)

編集室の窓



毎年ですが、9月定例会は丁度コシカリの稲刈時期と重なり、刈り遅れを気にしながらの議会スケジュールですが、気分転換をキツチリ行い定例会は無事終了しました。

さて、毎年行われる市町村議会広報研修会が8月25日に松江市で行われました。

この研修は、その年により講師の先生は違いますが、広報誌クリニクは必ず行われます。

広報誌クリニクというのは、各市町村議会が発行した広報誌の表紙から裏表紙まで全ページにわたり良い点や悪い点を指摘して、良くない方法や割付等を是正して読みやすい紙面に編集できるようにするものです。

今回の広報誌では、字体(フォント)設定に配慮して編集しています。変化を実感ください。

(均)